

小金井市地域情報化推進委員会 第1回 会議記録カード		平成15年11月4日(火) 14時00分~ 16時35分		場 所	市民会館 萌え木ホール
出 欠	市長 企画財政部長 が出席、 は欠席				
	廣瀬委員 和田委員 伊藤委員 田口委員 嶋田委員 津田委員				
	岩下委員 榎平委員 梶河委員 小室委員				
	(事務局 情報システム担当課長 行政管理課主査 福田主事 堤主事)				
議 題	1 委嘱状の交付について				
	2 委員長の選任について				
	3 職務代理者の選任について				
	4 議事の運営について				
	5 委員会設置の趣旨について				
	6 小金井市地域情報化政策の経緯について				
	7 委員会の審議予定について				
	8 その他				
傍聴の可否	可	傍聴者の数	15名	備考	
1 委嘱状の交付について					
(本件については、市長が各委員に直接交付した。)					
- 以下、説明内容省略 -					
2 委員長の選任について					
(本件については、情報システム担当課長が資料に基づき説明を行った。)					
小金井市地域情報化推進委員会設置要綱第5条(以下「要綱」という。)に基づき、					
委員の立候補・推薦によって選出することとしたい。					
[質疑応答]					
学識者がよい。小金井市IT戦略構想策定に参加し、経緯に詳しい廣瀬委員にお					
願いしたい。(津田委員)					
- 本件については、承認され、以上で終了 -					

3	職務代理者の選任について
	(本件については、委員長が、要綱第5条第3項にもとづき、指名した。)
	和田委員にお願いしたい。
	- 本件については、和田委員が承諾し、以上で終了 -
4	議事の運営について
	(本件については、委員長及び事務局から提起があった。)
	傍聴について、要綱第7条「原則公開」にもとづき、原則認めたい。(委員長)
	傍聴人の発言について、市の他の審議会等にならい、許可したい。(委員長)
	会議録について、要点筆記とし、次の委員会冒頭で承認後、ホームページと情報公開コーナーで公開することとしたい。また、誤りを防ぐため、テープ記録も行い、会議録承認後、消去するものとしてほしい。(情報システム担当課長)
	ITリーダーの参加を認めていただきたい。(事務局)
	メーリングリストを作成し、資料の送付や諸連絡に利用したい。(事務局)
	[質疑応答]
	委員会における傍聴人の扱いは、市ではどうなっているか。(委員長)
	- 傍聴人の発言を許可するのが全庁的な傾向。傍聴人の発言は記録するが、委員及び事務局が答弁するというようにはなっていない。(情報システム担当課長)
	ITリーダーの参加形態については、委員会の決定に従うが、どのようにしたらよいか。(事務局)
	- 取りあえずは傍聴として参加してもらい、ITリーダーの立場から提案等があれば、発言する機会を作る。柔軟に運営したい。(委員長)
	メーリングリストは、無料のYahooを利用することでよいか。(事務局)
	- 東京電力(株)のシステムが利用可能か調査する。(岩下委員)
	- 東京都のシステムが利用可能である。(田口委員)
	- 東京都のシステムを利用させていただきたい。(事務局)
	- 本件については、了承され、以上で終了 -
5	委員会設置の趣旨説明

(本件については、情報システム担当課長が、資料にもとづき、説明した。)
市では、長期総合計画の下、平成14年3月に小金井市IT戦略構想(以下「構想」という。)15年3月に小金井市前期IT基本計画(以下「計画」という。)
を策定した。
構想及び計画で掲げる事業は、市単独での実施はできない、もしくは望ましくないものばかりであるため、市以外の各主体が参加する本委員会が設置された。
この趣旨にもとづき、要綱第1条のとおり、構想及び計画にもとづいて、実施計画の検討と、地域全体の情報化を目指す協働の仕組みづくりに当たっていただきたい。
[質疑応答]
答申書のように、こういう実施計画がよい、協働の仕組みがよいという報告を市長に出すということでよいか。(委員長)
- そのとおり。(情報システム担当課長)
構想・計画について議論するのか、次の課題を議論するのか。(津田委員)
- 計画に沿って平成18年度までの実施計画を検討していただきたい。協働については、1年や2年で成果が出ないため、その限りではない。また、18年度以降を踏まえて、構想の問題点などもご指摘いただきたい。(事務局)
6 小金井市地域情報化政策の経緯について
(本件については、事務局が、資料にもとづいて説明した。)
市では、第3次小金井市基本構想の下、地域情報化のため、構想と計画を策定した。
構想は、「いきいきITタウンの創造」を目標に、「ウェブコミュニティの創造」「創造的産業の形成」「市民サービスの推進」の3点を戦略方針としている。
計画では、構想を受けて、コミュニティポータルサイトの17年度試行など、各事業の実施への段階と年度を示した。
[質疑応答]
計画の内、ホームページの充実など、行政で進めていくものについては、行政でどんどんやってほしい。(委員長)

実施上の課題を出し、いかに解決するかを考えるべきだ。ハザード（障害）は、
隠さずにきちんと出していくのがよい。（津田委員）
ネットワークの現状はどうか。（岩下委員）
- 庁内LANは10BASEで整備されている。学校については、事務室（庁内LAN）とパソコン教室のみで、校内LANは未整備。現在、図書館等の施設に、
市民が自由に利用できる端末を配置しようとしている。（事務局）
本委員会で、市民が行うことが提示されれば、市民代表委員としてできることがある。（梶河委員）
市民会議室は市が運営するというのでよいか。（伊藤委員）
- コミュニティポータルサイトと市民会議室の、運営上の区別ははっきりとはついていない。幅広い運営が考えられる。（事務局）
セキュリティポリシーを策定中とのことだが、それだけでは運営はできない。詳細な運営ルールをどうするかが必要だ。（津田委員）
- 部分的だが、現在、詳細な運営ルールの検討を行っている。（事務局）
総論賛成・各論反対で市役所内部が先に進めないことがある。そういった点にも留意して、実施計画の検討をする必要がある。（嶋田委員）
今後の課題を検討するために、小金井市の年齢別人口構成の資料が欲しい。（岩下委員）
- 次回までに用意する。（事務局）
先進的な取り組みをしている人を委員会に呼ぶ必要があるのではないか。また、踏み切り問題等、地域の課題を委員会で取り上げないのか。（和田委員）
- 協働の仕組みづくりを目的としているので、先進的な取り組みをしている人は委員会に呼びたい。地域の課題については、情報化でできるものは扱いたい。（委員長）
7 委員会の審議予定について
（本件については、事務局が、見通しについて説明した。）
委員会は全4回。今後は、11月下旬から12月上旬までに第2回委員会を、来年1月から2月に第3回委員会を、2月中下旬に第4回委員会をと考えている。

